

2-7.市民意識

これまで本市で行われた市制世論調査等⁶の結果を整理し、本市の交通に関する市民意識を整理しました。鉄道やバスなどの公共交通機関の満足度は、比較的高くなっていますが、鉄道の乗り換え利便性向上や、交通不便地域への新たな交通手段の導入、バスの運行便数の増加、定時性の確保を望む声が上がっています。また、交通渋滞や、徒歩、自転車での安全な道路空間については満足度が低くなっています。

表 3 交通分野ごとの市民意識の概要

道路交通	○国道やインターチェンジと結ぶ幹線道路は、満足が60.0%と高いものの、交通渋滞の解消については、不満が51.1%と高い。市内の交通渋滞については、「緩和されていると思えない」が47.0%と高い。 ○「交通渋滞解消策の推進（18.8%）」や、「幹線道路の整備（6.7%）」を求める意見はやや低い。
公共交通（鉄道）	○バスや鉄道等の公共交通の利便さについては、満足が50.9%と高い。 ○駅やバス等の公共交通のバリアフリー化については、満足が52.1%と高い。 ○鉄道の利便性（直通化等）や駅等の乗換え利便性向上を求めるニーズもある。
公共交通（バス）	○バスの利便性は、満足が55.6%と高い。 ○一方で、「交通不便地域への新たな交通システム等の導入による利便性の向上（44.6%）」や「バス路線網の再編や運行本数の改善、定時運行の確保（42.7%）」を求めるニーズが高い。
自転車交通	○自転車が安全に通行できる道路空間については、満足が13.7%と低く、不満が79.8%と高い。 ○「自転車が安全に通行できる道路空間やサイクルロードの整備（41.5%）」や「自転車利用環境の整備（29.2%）」を求めるニーズが高い。
歩行交通	○人が安全に通行できる道路空間については、満足が29.9%と低い。 ○「歩道の設置や段差の解消等、安全に通行できる道路空間の整備（41.3%）」や「歩道及び歩行者道の整備（23.7%）」を求めるニーズが高い。

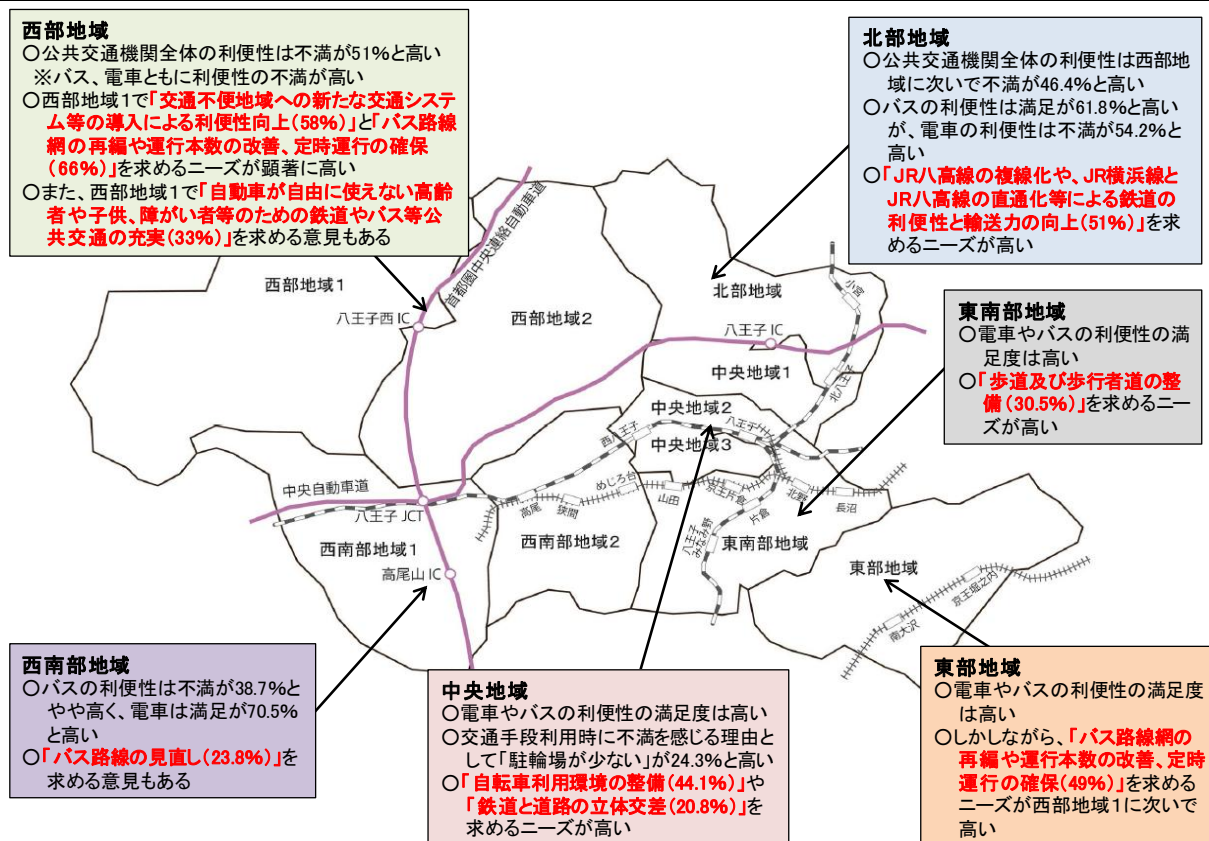


図 54 地域ごとの市民意識の概要

⁶ 「都市計画マスタープランの改定に向けたまちづくりアンケート調査（H24.9）」、「市民の定住意向に関するアンケート調査（H24.10）」、「平成23年市政世論調査（H23.5）」、「平成25年市政世論調査（H25.5）」を整理

3.その他関連する分野の状況

3-1 観光の動向

本市には、年間 300 万人の観光客を集めていると言われる高尾山をはじめ、複数の美術館・資料館、東京都唯一の道の駅「道の駅八王子滝山」等の観光地が存在します。また、大型のショッピングモールには、多くの買物客が訪れています。

高尾山が突出して観光客を集めている状況ですが、高尾山以外の観光地についても、交通アクセス性を高め、本市の観光の活性化に寄与することが課題となっています。

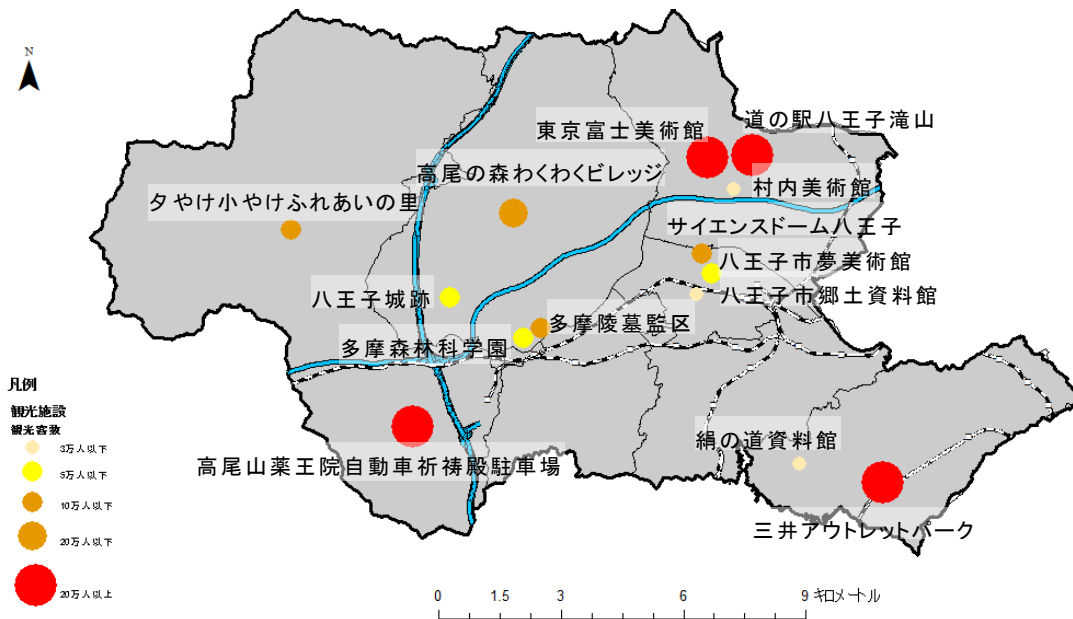
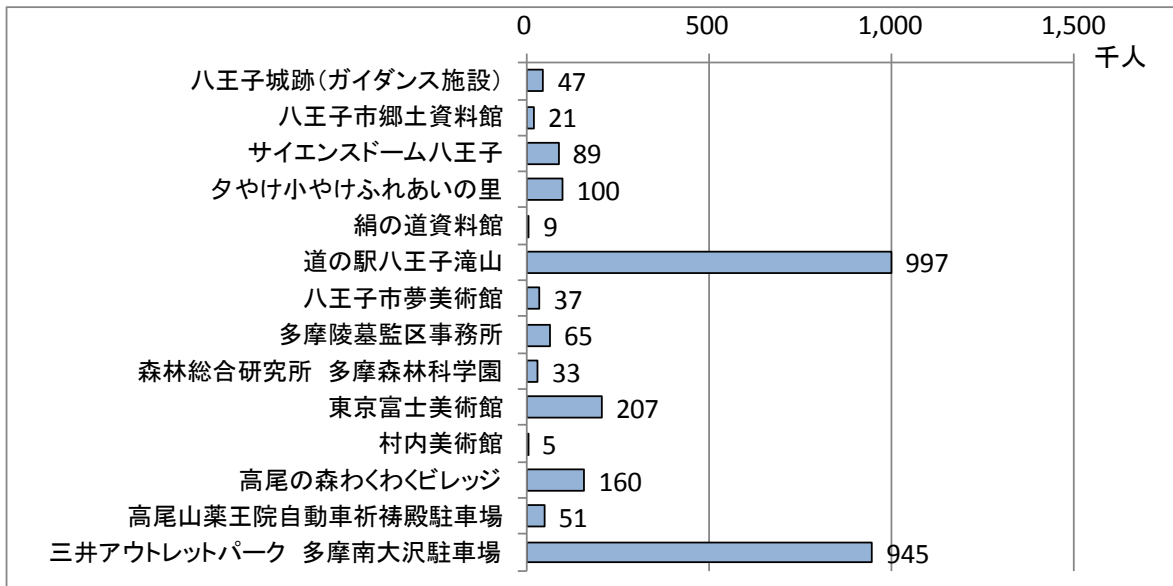


図 55 市内の観光地



出典：八王子市交通企画課

※高尾山は駐車場のみの観光客数

図 56 観光客数

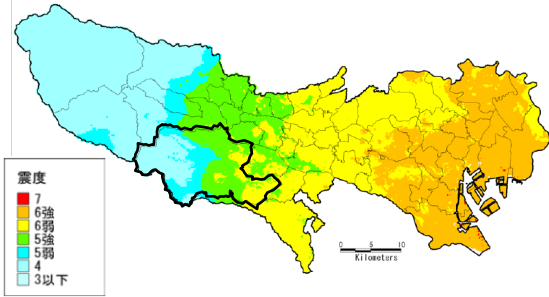
3-2 災害対応の状況

首都圏においては今後、首都直下型地震、南海トラフ巨大地震をはじめとした巨大地震の発生が予想されており、こうした大規模災害への備えが課題となっています。

また、東京湾等を震源地とした首都直下型が発生した場合、八王子市の被害は相対的に小さくなることが想定されることから、災害時の救援・補給基地としての機能が期待されます。

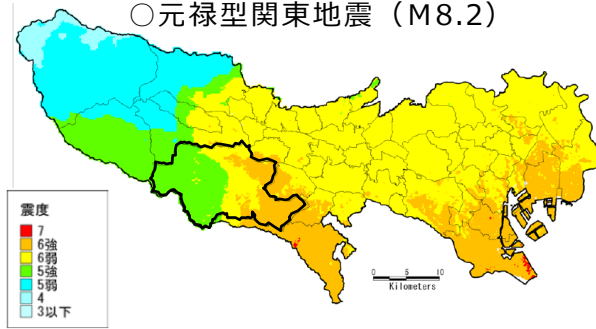
【首都直下型地震】

○東京湾北部地震（M7.3）

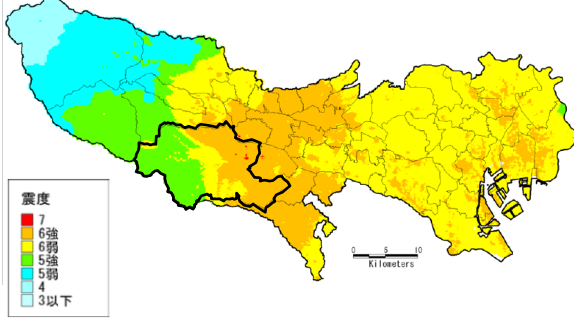


【海溝型地震】

○元禄型関東地震（M8.2）

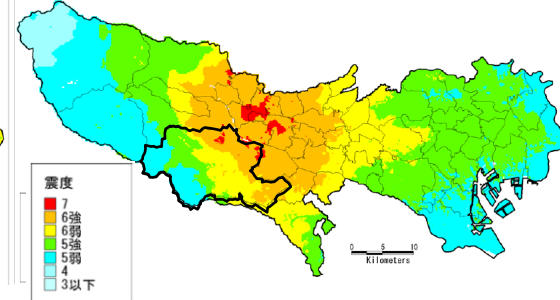


○多摩直下型地震（M7.3）



【活断層で発生する地震】

○立川断層帯地震（M7.4）



出典：「東京都防災ホームページ」より

図 57 首都直下地震等による東京の被害想定（平成 24 年 4 月 18 日公表）

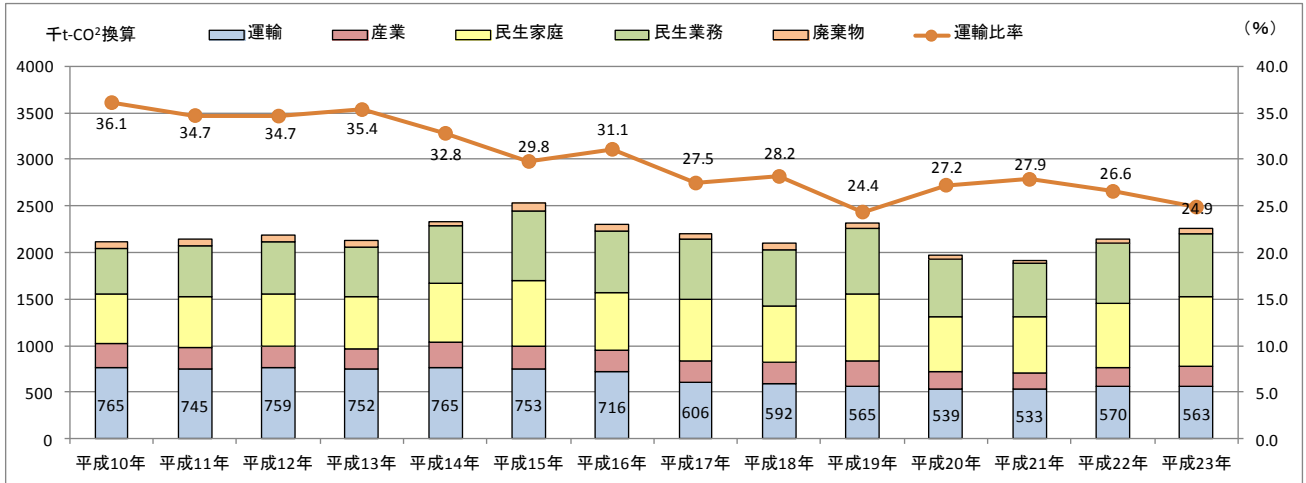


出典：八王子市都市計画マスタープラン

図 58 都市計画マスタープランにおける「防災」の方針図

3-3 環境への配慮

市内の二酸化炭素排出量は、平成 19 年以降減少していましたが、平成 22 年以降に微増しています。運輸部門に着目すると、平成 17 年以降は 3 割を下回って推移しています。

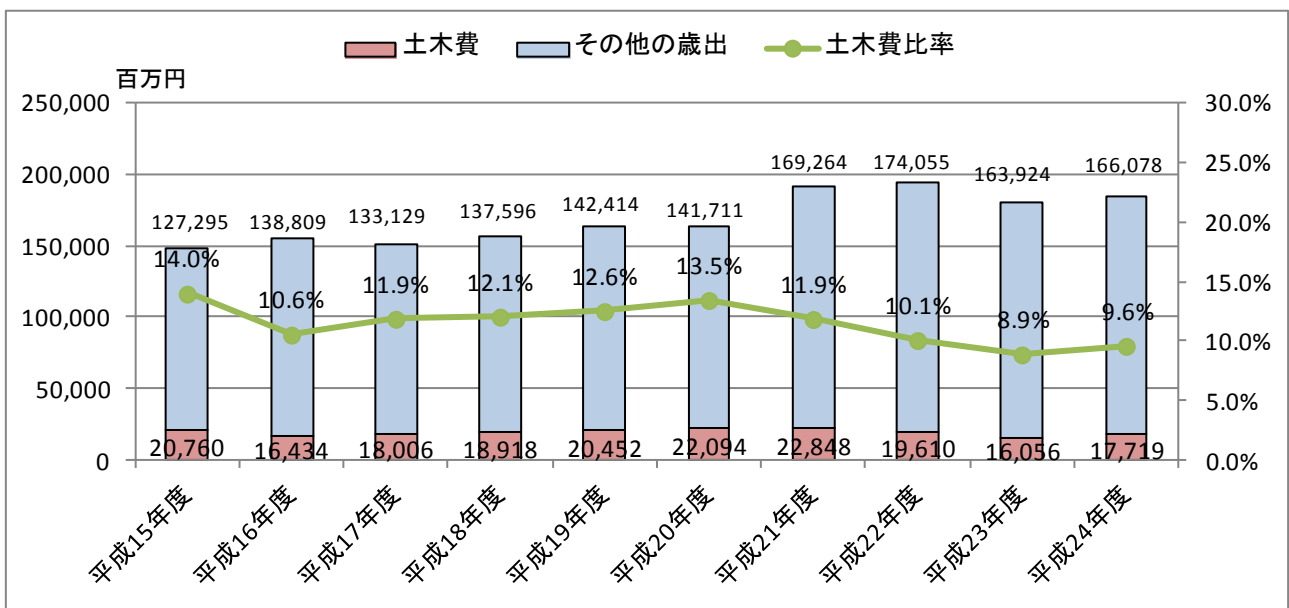


出典：八王子市「八王子市環境白書」(平成 25 年)

図 59 市内の部門別二酸化炭素排出量の推移

3-4 市の財政状況

八王子市の普通会計歳出額は、約 1,661 億円で、土木費は約 177 億円となっています（平成 24 年度）。歳出額の推移で見ると、平成 21 年度に大幅に増加し、以降はやや縮小傾向にあります。土木費については歳出額に占める割合が減少傾向にあり、今後も厳しい財政状況が予想されます。



出典：八王子市「決算カード」

図 60 財政状況の推移

